政令第三十一号

弁理士法施行令の一部を改正する政令

内閣は、弁理士法の一部を改正する法律（平成十九年法律第九十一号）の施行に伴い、及び弁理士法（平成十二年法律第四十九号）第五十七条第二項の規定に基づき、この政令を制定する。

弁理士法施行令（平成十二年政令第三百八十四号）の一部を次のように改正する。

第一条を削る。

第二条中「法」を「弁理士法（以下「法」という。）」に改め、同条を第一条とし、第三条を第二条とする。

第四条中「第九号」を「第十号」に改め、「掲げる事項」の下に「（同項第十号に掲げる事項にあつては、法第三十一条の二に規定する研修に関する事項に限る。）」を加え、同条を第三条とし、第五条から第七条までを一条ずつ繰り上げる。

附 則

この政令は、平成二十年四月一日から施行する。

理由

弁理士法の一部を改正する法律の施行に伴い、日本弁理士会の会則の変更であつて経済産業大臣の認可を必要とする重要な事項に、弁理士の資質の向上を図るための研修に関する事項を追加する等の必要があるからである。